



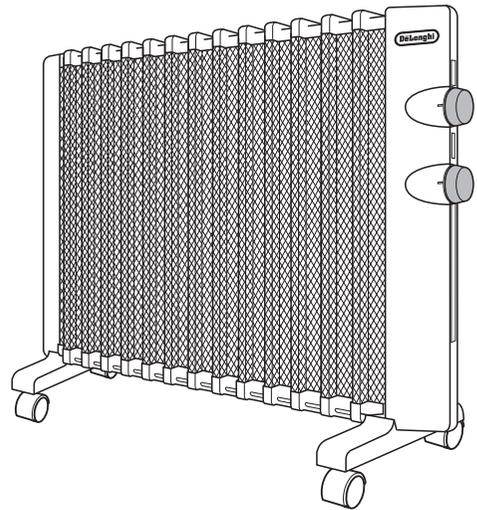
Mica Panel Heater

デロンギ マイカパネルヒーター

型式番号

HMP1200J

家庭用



取扱説明書

保証書付

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書(裏表紙)とともに大切に保管してください。

- 本書に記載の内容は改善のため予告なく変更する場合があります。
- 本体の型式番号「HMP1200J」の後に続くハイフンおよびアルファベットは、色番号を表すものです。

目次

安全上のご注意.....	2
ご使用前に	4
各部の名称とはたらき	5
使いかた	6
故障かな?	8
お手入れ/保管.....	9
電源プラグ・コードの安全チェックシート	10
仕様.....	10
アフターサービス.....	11
保証書	裏表紙

■ キャスターの取り付けかた



ヒーターの転倒や事故を防ぐため、ご使用前に必ずキャスター(2個)を取り付けてください。

作業前に、付属品(キャスター 2個、固定用ネジ4本)がそろっていることを確認してください。

1 本体を底面が上になるように立てる

- 作業中に本体が倒れないよう、しっかりと支えをしてください。
- 柔らかい布などを使って、壁や家具、床には直接触れないようにしてください。材質によっては傷がつく恐れがあります。

2 片側のキャスターを取り付ける

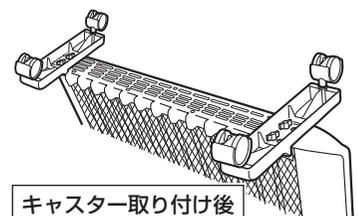
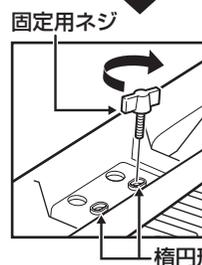
- ① キャスターは取り付ける方向が決まっています。キャスターの突起と底面の穴を合わせて、はめ込んでください。
- ② キャスターには4つの穴があいています。固定用ネジ(2本)を楕円形の穴2つに差し込んで、時計回りに締め付けます。
- ③ 締め付け後、キャスターがしっかり固定されていることを確認してください。



3 手順 2 と同じように反対側のキャスターを取り付ける

4 キャスターが下になるようにゆっくり立てる

- 天面と底面を両手でしっかりと持って、倒れないように注意してください。



キャスター取り付け後

安全上のご注意 <必ずお守りください>

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を「警告」「注意」の2つに分け、説明しています。



警告 誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意 誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

警告



定格15A (100V) のコンセントを本製品だけ単独で使用する

(火災の原因)

- ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップ、ソケットなどは使用しない。

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのホコリは定期的に取り取る

(火災の原因)

異常・故障時には使用を中止する

(火災・感電の原因)

故障・異常時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社テクニカルセンターに点検・修理を依頼してください。

お子様、自分で本機の温度を調節できない方には必ず付き添う

(火災・感電・けが・やけどの原因)

- ※ お子様、乳幼児、自分で本機の温度を調節できない方が近くにいるときは、必ず操作できる大人が付き添ってください。



電源プラグ・電源コードを破損させない

(火災・感電の原因)

- コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしない。
- コードを無理に引っ張ったり、束ねたまま使用しない。
- 本体表面など高温部や他の熱機器に近づけない。

電源プラグ・コードに異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社テクニカルセンターに点検・修理を依頼してください。

カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、コンセントのすぐ近くで使わない

(火災の原因)

- コンセントのすぐ下で使わない。
- カーテンなど燃えやすいものの近く、テーブルや机の下で使わない。

スプレー缶などを本体の近くに置かない

(火災・けがの原因)

穴、すき間、開口部に指や異物(ピン・針金などの金属、紙・布などの可燃物)を差し込まない

(火災・感電の原因)

- ※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
(感電の原因)



覆い掛け禁止

本機をふとんや衣類などで覆わない
(火災の原因)

● 乾燥など他の用途に使用しない。



分解禁止

本製品を分解、改造しない
(火災・感電の原因)

注意



指示

平らな安定した場所に置く
(火災・けがの原因)



電源プラグ
を抜く

就寝時、外出時、お手入れの際には、
電源プラグを抜く
(火災の原因)



禁止

長時間同じ部位を暖めない
(やけどの原因)

※ 長時間同じ部位を暖めると低温やけどのおそれがあります。

犬や猫などのペットの暖房に使わない
(火災の原因)



水ぬれ禁止

水などの液体を本体にかけない
(火災・感電の原因)



水場使用禁止

水・湿気の多い場所で使わない
(火災・感電の原因)

● 屋外や浴室など水や湿気の多い場所で使わない。



接触禁止

運転中および運転停止直後は、本体表面など高温部に触れない
(やけどの原因)

※ 移動の際には電源プラグを抜き、本体が十分に冷めてから取っ手を持って移動してください。

ご使用の前に

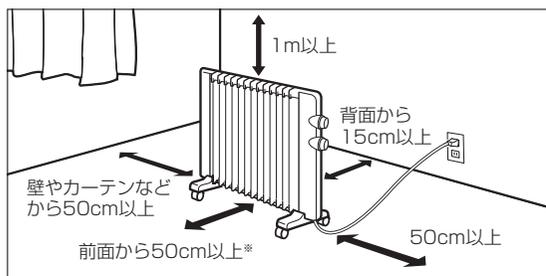
⚠ 使用上のご注意

- ヒーターの転倒や事故を防ぐため、必ずキャスター（2個）を取り付けてください（表紙参照）。
- 本書の「安全上のご注意」（2～3ページ）と「設置についてのご注意」（下記）に従って、本機を正しく設置してください。
- 本体は定期的にお手入れをしてください。お手入れ方法は、9ページをご参照ください。

⚠ 設置についてのご注意

- 壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから離す

壁やカーテンなどの燃えやすいものから以下の距離を取り、設置してください。



※ 寝室で使用する場合は、人や家具などから1m以上離してください。

- 電源をとるコンセントのすぐ下で使わない
暖気で電源コード／電源プラグが変形・変質し、故障などの原因になります。
- ヒーターの上や周囲に、ものが覆いかぶさらないように設置する

- テーブルや机の下で使わない

ヒーターの上部は、燃え易いものから約1m以上の距離を取ってください。ヒーターの上部をふさぐと、空気の対流ができず高温となり、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。

- 本体背面や底面の通気口をふさがない

特にキャスターの間に、ものを置かないようにしてください。

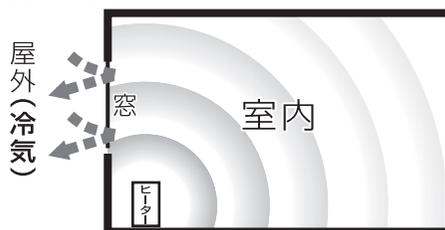
- 毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く

本機が倒れたり、不安定な場所で傾いたりすると安全装置が働き電源が切れます。

上手な使いかた

- 効果的な設置場所

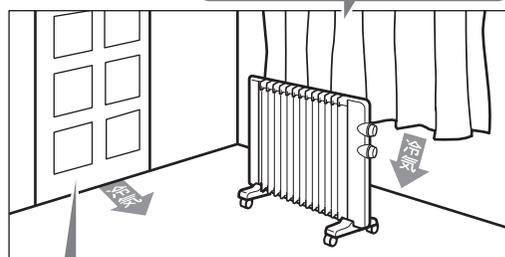
窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気によって、ダウンドラフト（冷気の侵入）を抑えます。



- 効果的な暖房を得るための工夫

以下の工夫で冷気の侵入を防ぐことにより、さらに効果的な暖房が得られます。

厚手のカーテンを付ける



ドアの開閉頻度を減らす

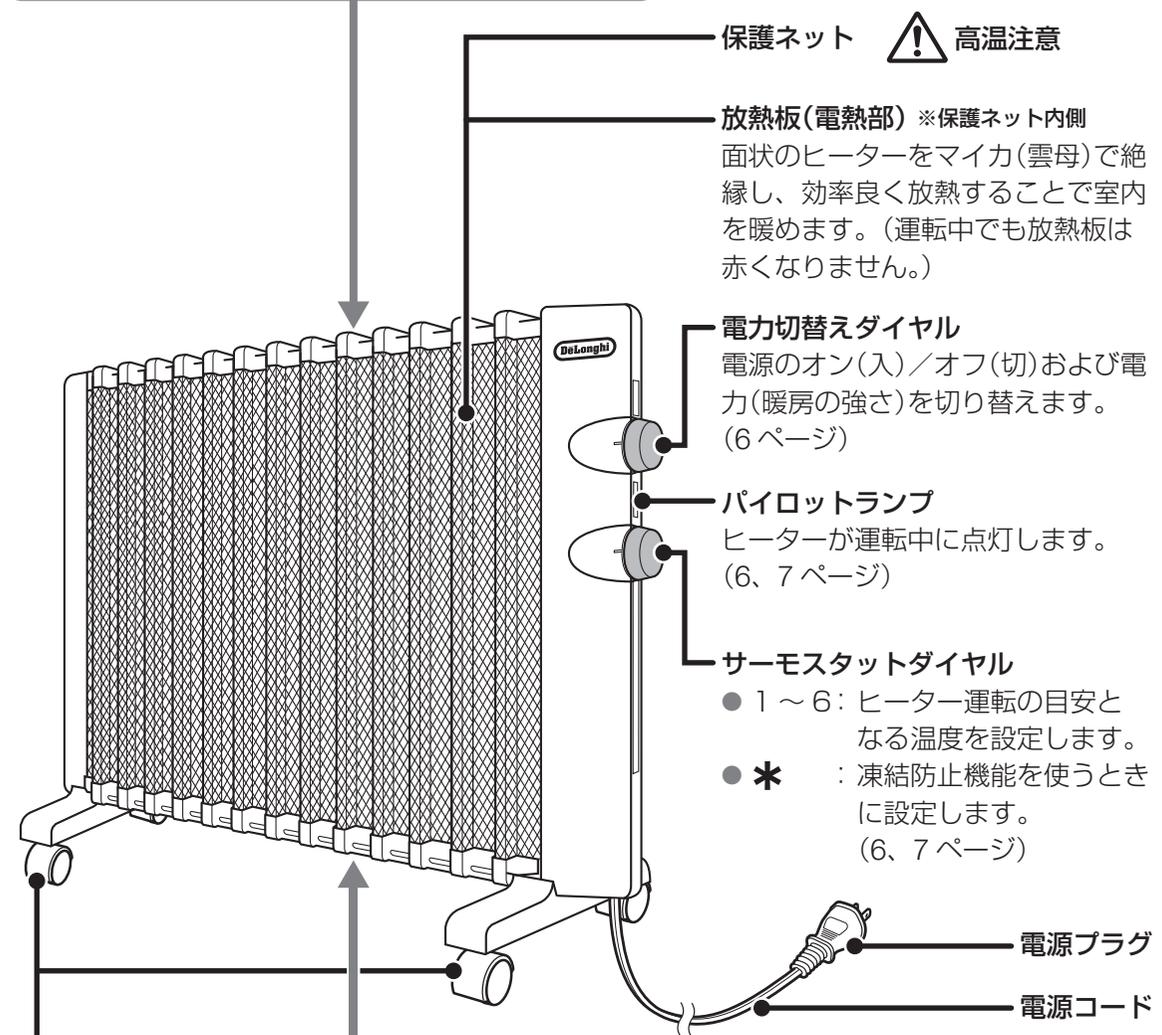
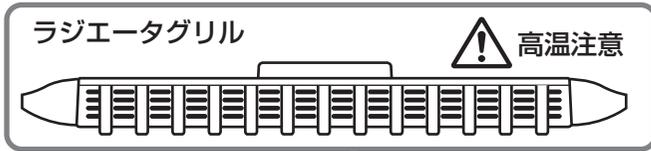
⚠ 本体を移動するときは

- ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行う

※ 床面が傷付く場合がありますので、必ずキャスターを床面に付けてゆっくり移動するか、取っ手に指を入れ、本体を持ち上げて移動してください。

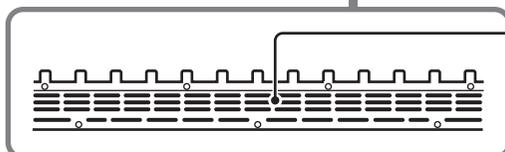
各部の名称とはたらき

<本体天面>

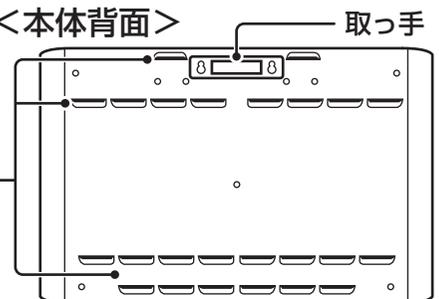


キャスター(取り付け式)
(表紙参照)

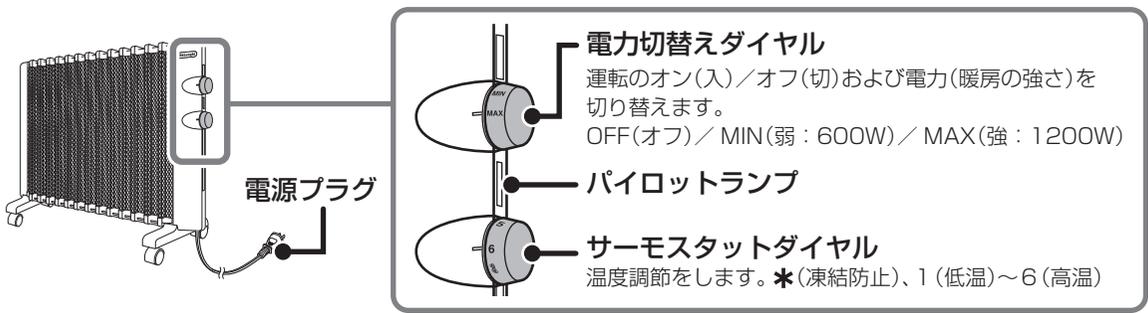
<本体底面>



<本体背面>



使いかた



1 準備

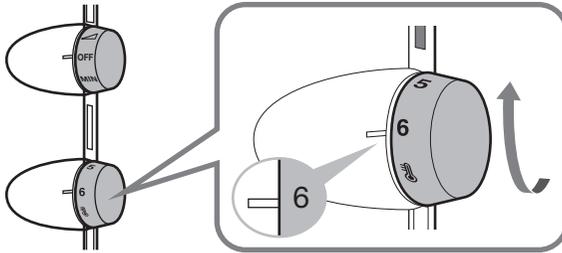
電源プラグをコンセントに差し込む

お知らせ

- 本体にホコリやゴミが付いていると、通風の妨げになります。ご使用前にお手入れを行ってください。(9ページ)

2 運転開始

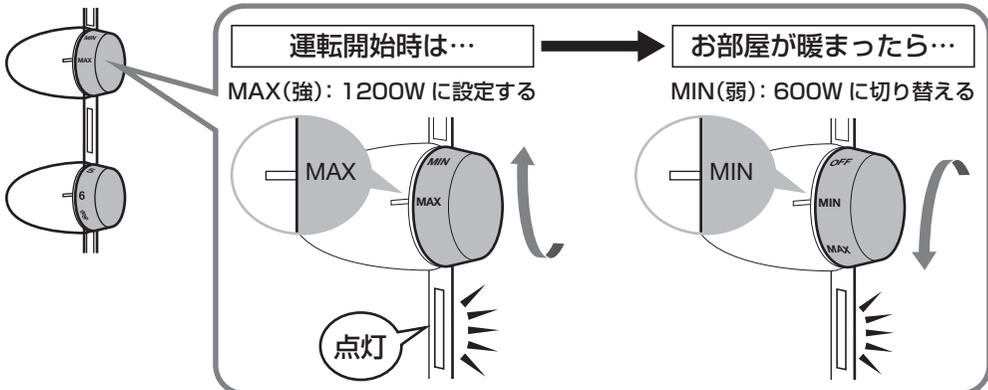
① サーモスタットダイヤルを「6(最大)」に合わせる



本体を早く温めるために、運転開始時は「6」(高温設定)にします。

② 電力切替えダイヤルを「MAX(強)」または「MIN(弱)」に合わせる

電源がオンになりパイロットランプが点灯して、暖房運転が始まります。



使いかたのヒント

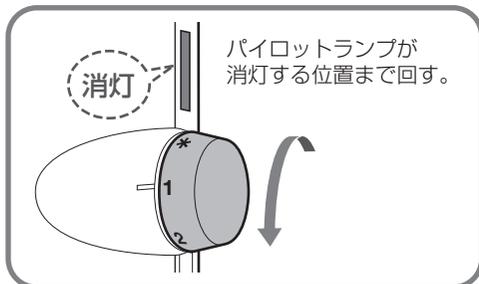
- お部屋が暖まってくると、ヒーターは自動で運転と停止を繰り返します。(運転と停止に合わせてパイロットランプも点灯と消灯を繰り返します。)
- 小さめのお部屋は、運転開始時から「MIN(弱)」で運転しても十分な暖房効果が得られる場合があります。外気温、部屋の広さ、または断熱性能に応じて使い分けてください。

3 運転中：少し低めの温度で運転するには

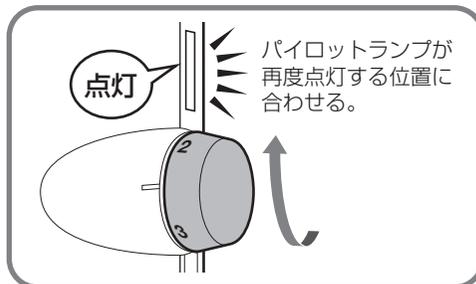
電力切替えダイヤルを「MIN (弱)」に設定しても、まだ暖かすぎると感じるときは、サーモスタットダイヤルを調節してヒーター運転の目安となる温度を下げます。

● サーモスタットダイヤルは、数字が小さいほど低い温度設定になります。

① サーモスタットダイヤルを下 (反時計回り) に回す



② 再度サーモスタットダイヤルを少しずつ上 (時計回り) に回す

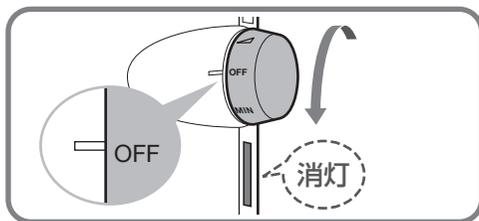


● 上記の操作でサーモスタットが低めの温度に設定されます。

● さらに温度を下げたいときは、サーモスタットダイヤルを ② の設定より小さい数字に合わせてください。温度を上げたいときは、② の設定より大きい数字に合わせてください。

4 運転停止

電力切替えダイヤルを「OFF」に戻す



● 電源がオフになりパイロットランプが消灯して、運転が停止します。

● 本機を使わないときは、電源プラグを抜いてください。



運転停止後もしばらく熱いので、本体には直接触れない

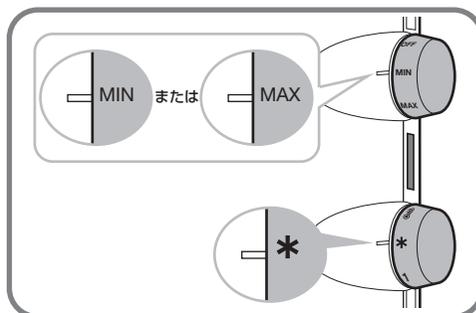
* その他の使い方：凍結防止機能

周辺温度が約5℃以下にならないように自動で運転します。冬期の室温の下がりすぎを防ぐことができます。

① サーモスタットダイヤルを * に合わせる

② 電力切替えダイヤルを「MAX (強)」または「MIN (弱)」に合わせる

● 周辺温度が下がりすぎないように、自動でヒーターの運転と停止 (パイロットランプの点灯と消灯) を繰り返します。



故障かな？

修理をご依頼いただく前に、以下の項目をご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター（11ページ参照）までお問い合わせください。

症状 電力切替えダイヤルを回してもパイロットランプが点灯せず、ヒーターも暖かにならない

チェック①

電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグを根元までしっかりとコンセントに差し込んでください。

チェック②

サーモスタットダイヤルを小さい数字に合わせていませんか？

運転開始時は、サーモスタットダイヤルを上(時計回り)に回して、「6(最大)」に設定してください。(6ページ)

チェック③

本体がカーテンやふとんなどで覆われていませんか？

本体がカーテンやふとんなどで覆われていると、異常過熱して安全装置が働き、運転を停止します。

安全装置が働いた場合は

- ① 電力切替えダイヤルを「OFF」の位置に戻してから電源プラグをコンセントから抜く
- ② カーテンやふとんなどを取り除く
- ③ 本体が十分に冷めたことを確認してから、運転を再開する

上記手順を行っても改善されない場合は、直ちに電力切替えダイヤルを「OFF」にしてから、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社テクニカルセンター(11ページ)までご連絡ください。

症状 使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる(目安：約40℃)

チェック

電源プラグ・コードは正しく接続されていますか？

正しく接続・使用されていないと、異常発熱の原因になります。「電源プラグ・コードの安全チェックシート」(10ページ)に従って、電源プラグ、電源コード、およびコンセントを点検してください。

症状 部屋が暖まらない

チェック①

サーモスタットダイヤルの数字が小さくなりすぎていませんか？

サーモスタットダイヤルの数字が小さすぎると本体周囲温度によってはヒーターの運転が停止しやすく、暖かさを感じられないことがあります。サーモスタットダイヤルの数字を大きくしてください。(7ページ)

チェック②

電力切替えダイヤルを「MIN(弱)」に設定していませんか？

運転開始時は、電力切替えダイヤルを「MAX(強)」に設定してください。(6ページ) 外気温がとても低いなど設置環境によって、「MIN(弱)」では快適な暖かさを感じられないことがあります。その場合は「MAX(強)」のままでご使用ください。

ドア（出入口）付近や、窓から離れた場所に設置していませんか？

- ドア（出入口）付近に設置すると、人の出入り（ドアの開閉）により暖気が逃げてしまいます。ドア（出入口）から離れた場所に設置してください。
- 窓の近くで発生するダウンドラフト（冷気の侵入）によってお部屋が暖まらないことがあります。（4ページ）
※ 外気温、部屋の広さや断熱性能によって、お部屋が暖まりにくいことがあります。

症状

初期使用時の臭い

最初は、新製品特有の臭いを感じることがあります。これは、ヒーターの耐熱塗装が熱になじむまでのことで、機能や安全性に問題はありません。しばらくご使用いただきますと、臭いは次第におさまります。

症状

操作部に青白い光が見える

周囲が暗いと、サーモスタットがある操作部内に青白い光が見えることがあります。これはサーモスタットが、自動的に電源をオン／オフする際のもので、故障ではありません。



- お手入れや収納をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う
- 絶対に水に浸したり、水洗いしない

定期的なお手入れ

- 本体および壁や床とのすき間にたまっているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。また、本体背面や底面のホコリも確認して取り除いてください。
- 壁のコンセント（刃受）および電源プラグ（刃）に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。

本体が汚れたら

乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



- 洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しない

保管のしかた

1 保管前のお手入れ

保管前にたまったホコリや本体の汚れを取り除いてください。

2 保管するときのご注意

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 箱に収納しない場合は、必ずキャスターを取り付けた状態で保管してください。



- 保管の際は、逆さに立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かない

電源プラグ・コードの安全チェックシート

製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ、電源コード、コンセントの点検を行ってください。

壁のコンセントを他の機器と併用していませんか？

延長コード、テーブルタップを使っていませんか？

- 壁のコンセントは、定格容量15Aのものを使う。
- 壁のコンセントを本機だけで使う（二口めを使わない）。
- 延長コード、テーブルタップは使用しない。

守らないと：火災の原因

コンセントにガタツキはありませんか？

- 電気店などに依頼し、修理する。

守らないと：火災の原因

電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？

- 定期的に、電源プラグやコンセントに付着したホコリを掃除機などで取り除く。

守らないと：火災の原因

電源プラグ（刃）が変形していませんか？

- ベンチなどで手直しせず、お求めの販売店または当社テクニカルセンターにプラグの交換を依頼する。

守らないと：火災の原因

電源コードに重いものが載っていませんか？

- 電源コードを家具等の下敷きにしたり、壁に押し付けたりしない。

守らないと：感電や火災の原因

電源コードを束ねていませんか？

- 余った電源コードは束ねず、伸ばしたまま使う。

守らないと：火災の原因

仕様

型式番号	HMP1200J	
適用畳数(目安)	8畳まで	
定格	電圧/周波数	交流100V / 50/60Hz
	消費電力	MAX(強) : 1200W、 MIN(弱) : 600W
外形寸法(約)	幅 79cm × 奥行 26.5cm × 高さ 56.5cm(キャスター取り付け時)	
質量(約)	5.9kg(キャスター取り付け時)	
安全装置	転倒時OFFスイッチ、温度過昇防止用サーモスタット(復帰型)	
付属品	キャスター(2個)、固定用ネジ(4本)	
原産国	中国	

この製品は欧州RoHS 指令に適合した製品です。



RoHS

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリプロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

アフターサービス

1 使用中に異常(★)が生じた場合：

直ちに電源を切り(= 運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、8ページの「故障かな?」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社テクニカルセンター(下記参照)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- 本体や操作部に、水などの液体をこぼした
- 電源コード、電源プラグが変形/破損している
- 本体に、強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

万一故障した場合：

保証書に記載されている販売店に ①お買い上げ日 ②製品名と型式番号 ③故障の状況—を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※ 宅配便等を利用して当社テクニカルセンター(下記参照)に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封くださるようお願いいたします。

※ お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ(下記参照)にてご確認ください。

※ 保証規定に関しては、保証書をご参照ください。

2 補修用性能部品の保有期間について：

当社では、この製品の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3 まごころ点検について：

長年ご使用のヒーターは、点検をお勧めします。

保証期間(3年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、当社テクニカルセンター(下記参照)までお問い合わせください。



4 デロンギ再資源化システムについて：

ご不要になった製品は、下記の要領に従い、当社テクニカルセンター(下記参照)までお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。



● **送料について**：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

● **梱包について**：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※ 修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社テクニカルセンター(下記参照)までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン テクニカルセンター(受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30～17:00)

コールセンター Tel.0120-804-280

Fax.045-450-3291

〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13-13

ホームページでのお問い合わせ(URL)..... <http://www.delonghi.co.jp/support>